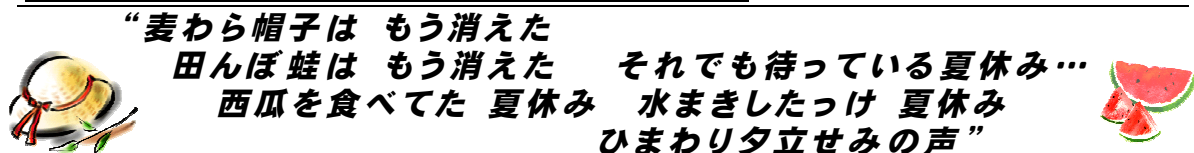


研究所だより

第352号
2015年7月15日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015



懐かしい歌ですが、ご存じでしょうか？1971年にリリースされた吉田拓郎の「夏休み」です。地球温暖化による異常気象、毎日報道される豪雨や熱中症による被害、昭和の時代に比べると日本人にとって夏というものがあまりにも過酷な季節になってきているのは事実です。そんな折りに、久々に聞いた「夏休み」、牧歌的な昭和の夏の風景がスッと心の中に蘇ってきます。昔の日本の夏は、もっとやさしかったんですね。確かに、今の時代ではもう見るできないものなのかもしれません。時代が変わったからこそ心に響くようになった美しい昭和の夏の風景だったのでしょうか。

～いよいよ夏本番！～

7月23日（木）は「大暑」。（23日から立秋までの期間を大暑と呼ぶ場合もあります。）大暑は書いて字の如く、一年で最も暑くなる時期を指します。夏真っ盛りというところでしょうか。大暑の日は、天ぷらの日として、土用の丑の日、8月29日の焼き肉の日と並んで「夏バテ防止三大食べ物記念日」とされています。どうして天ぷらなのかと言うと「暑さに負けないように栄養豊富な天ぷらを食べ、夏を乗り切ろう」という意味があるそうです。また、大暑をはじめとした夏の暑さに打ち勝つためには「う」のつく食べ物を摂るとよいとも言われています。

- ①ウナギ；夏バテ防止に効果があるビタミンB1、Aを豊富に含む
- ②梅干し；疲労回復に役立つクエン酸が効果を発揮
- ③うどん；夏バテ予防・食欲増進

★第65次土佐清水市教育研究集会一日教研のご案内★

期日：8月5日（水）
会場：土佐清水市文化会館くろしおホール
日程：

受付	8：45～	9：00
開会行事	9：00～	9：30
講演	9：30～	11：30
質疑応答	11：30～	12：00
部会研修	13：30～	16：45

（各会場）

～講演～

演題『互いに認め合い高め合う学級集団づくり』
講師 鹿嶋 真弓先生
（高知大学教育学部 附属教育実践総合センター准教授）

本市の教育研究集会は65回という歴史を刻んできました。子ども達を中心に据えて教育実践の有り様を模索し、検証する場として先人達が長い歴史の中で右往左往しながら築き上げてきたものであり、今日に引き継がれています。教職員自らが、問題意識、課題意識を持ち、自主的・主体的に自らの力量、資質向上を図るために教研集会に臨んできました。もう一度私たちは先人達が築き上げてきた教育研究集会の意義、意図するものを再考し、更に発展、向上させていきたいものです。市教研は、先生方の自主的・主体的な研究を積み重ねその検証の場であり、悉皆研修として位置づけています。4月当初に各教研の月日を提起しているのが当日は学校行事等は避け、各部会充実した研修であって欲しいと思います。また半日教研は原則授業研究を主としていますのでご留意ください。

いじめや人間関係等を苦に自ら死を選ぶ子どもが後を絶ちません。学校の危機管理が問われています。まずは“さしすせそ”を基本に対応しましょう。

◇学校の危機管理“さしすせそ”！◇

- さ：最悪のことを考える（最悪の事態を想定して）
- し：慎重に
- す：素早く
- せ：誠実な対応
- そ：組織対応が大事

★教育センターFAX番号変更のお知らせ★

FAX：83-0782

TEL { 82-3501（補導センター）
82-3015（教育センター・研究所）
82-3016（教育相談）

◇カードゲーム（教具）貸し出し中！◇

6月号でもお知らせしましたが、研究員の池先生が、昨年の一日教研の講師杉本陽子先生の著書「個に応じた学びの基礎が身に付く」を基に制作した「かけ算九九カードゲーム」（2年生）に続き「ローマ字カード」（3年生）、「漢字カード」（1年生）を作ってくれました。各10セット準備しています。

この教材の共通点は、カードでいろいろなゲームにチャレンジしながら、楽しく学べるところにあります。活用するカードの組み合わせによって多様なゲームができるため、子ども達は飽きることなく繰り返し学習に取り組めます。

ただいま貸し出しを行っていますので、ぜひご利用ください。

これらの教具以外にも図書資料や映像資料があります。詳しくは研究所のホームページをご覧ください。

